

地球温暖化（災害）防止へ向けて 加速を！



須永 修通*

日本太陽エネルギー学会の会員の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様にとりまして、本年が素晴らしい年になりますよう祈念いたしております。

さて、昨年大きな台風がつづき、甚大な被害を受けましたが、このようなスーパー台風と呼ばれる大きな台風がここ数年、日本だけではなく世界各地で出現するようになってきて、その主因は地球温暖化であると言われております。

この地球温暖化を防止するためには、皆様ご存じのように、二酸化炭素の排出量を徹底して抑えることが必要です。そのために有効な方法は、まず二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーをできるだけ利用する、できれば100%利用することです。二つ目は、各分野・各人が徹底した省エネルギーを行い化石エネルギーの使用を大幅に削減することです。

前者には、再生可能エネルギーのさらなる技術開発と普及、後者には人々の意識改革・行動が必要となります。

従いまして、再生可能エネルギーの開発・普及ならびに持続可能な社会実現を目指している本学会の役割は益々大きくなっており、本学会を飛躍的に活性化させることが求められています。

このような情勢の中、この1年間、本学会では、下記のような活動を行ってきました。

①**定款・規程の改定**：5月の総会で承認されました。定款第3条を「この法人は、**太陽エネルギーをはじめとする風力・バイオマス等の再生可能エネルギー利用、並びに、持続可能な社会構築に関する事項**に関わる会員相互の連絡・親睦及び国内外の研究者・研究団体との交流を図ることを目的とし、併せて科学技術の振興と研究成果の普及を図る。」としました。これにより定款を本学会の実情に合致させ、また「太陽エネルギー」だけでなく、広い範囲を対象とした学会であることを明示しまし

た。また、各種規程にあった齟齬なども修正しました。

②**学会誌の充実**：特集記事などの内容を充実させ、また新しい表紙デザインを公募し、選定しました。

③**ホームページの充実**：様々な改良を行いました。さらに本年の4月には会員専用ページを開設予定で、過去の学会誌等が閲覧できるようになります。

④**若手研究発表会**：第1回を2019年8月に早稲田大学で開催。50名（発表者18名）が参加しました。

⑤**JSES-PV 夏合宿**：8月に岐阜県下呂温泉で2泊3日で実施。93名が参加しました。

⑥**団体会員の内容検討**：団体会員を増やすような仕組みについて検討しています。

⑦**教育用コンテンツの検討**：一般の人々の啓発とともに学校会員を増やすことも目的として、パワーポイント資料などを準備していくことを決定しました。

⑧**セミナー・講演会・見学会**：ソーラーカー講習会（2020年2月予定）など、各部会主催で多数開催。

本学会を活性化させるには、なんと言っても会員数の増大が必要です。しかしながら、学生などの学会離れが深刻な現在においては、学会を認知してもらうこととともに、学会を魅力的な、面白いものとするのが求められていると思います。

認知については、定款の改定やホームページの充実などによって下地が出来たと思いますが、まだまだ不十分です。教育用コンテンツで中学生や高校生にアピールすることも、1つの有効な手段になると思います。また、学会を魅力的なものにすることについては、これまでの学生奨励賞に加え、若手研究発表会や夏合宿などを開催しましたが、恒例の研究発表会をさらに面白いものにするなどの、多くのアイデアが必要だと思います。

会員の皆様の英知により、本学会を発展させ、ひいては地球温暖化（災害）防止につなげてくださいますよう、心からお願い申し上げます。

* 一般社団法人日本太陽エネルギー学会会長
首都大学東京 都市環境科学研究科 建築学域教授